

I. 日 時：平成28年12月19日（月）10：00～12：00

II. 場 所：アルカディア市ヶ谷 私学会館

III. 参加者：向殿委員長、大原副委員長、東村委員、酒井委員、白崎委員、田辺委員、松本委員、井上委員、斎藤アドバイザー、吉永アドバイザー、宮脇アドバイザー、木村アドバイザー、中塚アドバイザー、青木アドバイザー、井端事務局長、森下、中村

#### IV. 資 料

1. 平成28年度「社会スタディ」開催要項
2. 平成28年度「社会スタディ」参加者募集パンフレット
3. 平成28年度「産学連人材ニーズ交流会開催要項検討（案）」
4. 平成28年度「大学教員の企業現場研修」開催要項（案）」

#### V. 検討内容

##### 1. 平成28年度「社会スタディ」の開催について

事務局より前回委員会で決定を踏まえて、11月14日に平成28年度「第4回社会スタディ」開催要項及び参加者募集案内を全国の国・公・私立大学の学長宛に発送したことが報告された。

##### 2. 産学連携人材ニーズ交流会の開催方針について

###### (1) 主な検討事項

###### ① 本年度のテーマ

本年度のテーマについて、前回の検討を踏まえて一部を修正し以下のように取りまとめた。

「IoT、ビッグデータ、人工知能（AI）、ロボットなどの技術革新は、従来にないスピードとインパクトで進行しており、これまで実現不可能とされていた価値の創造や社会の変革が始まっています。このような社会の変化に大学教育は応えられているでしょうか。

そこで、今回はこのような社会に対応する大学教育の在り方を検討すべく、さまざまな領域から多様な情報や考えを組み合わせ、新しい視点を提案し、挑戦・行動できる構想力と実践力の育成に向けた教育改善を産学連携で探求する場にしたいと考えております。

###### ② 有識者からの情報提供について

前回の委員会で、新たな有識者を検討することになり、委員、事務局で調整・依頼した結果の報告があり情報提供について検討の結果以下テーマで、2名の方に情報提供をお願いすることにした。

###### (1) オープン化が進む時代の「知」の役割 ～これからの大学教育に求められるもの～

藤田 喜久雄 氏（大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻教授）

###### 話題提供の内容

オープン化が進む時代に「知」の役割を担う大学教育の役割として、社会の価値や人々が何を求めているのか多面的に問題を捉え解決策を探求できる人材育成が非常に重要になること。それには専門性を生かした上で、多分野、異分野の人々とオープンなコラボレーションをする中で創造的な「知」を一緒につくりだす経験の教育が必要になることなどの提案を大阪大学の取組を踏まえてご紹介いただく。

## (2) 分野の枠を越えた知のイノベーション教育への取組み

中澤 仁 氏 (慶應義塾大学環境情報学部准教授)

### 話題提供の内容

複雑化し、不確実性の高い現代社会においては、新しい状況を的確に理解し、最適な状況を作り出すための技術や制度、組織の設計ができる人材が望まれている。問題の本質がどこにあるのかを見極めるためにはさまざまな学問領域の幅広い視野と得意領域を併せ持ち、実際の現場に飛び込み、問題の解決に関わりながら学ぶことが重要になる。このような学びを目指した「学生が自らの専攻分野を創って行く文理融合の学び」について慶應義塾大学の取組をご紹介いただく

### ③ 課題提起

#### 大学教育での構想力の育成について (情報専門教育委員会)

様々な領域で ICT を活用してイノベーションに関与できる学修の仕組み、教育内容・方法を産学連携で考えるため、「構想力及び実践力を目指した分野横断によるオープンイノベーション型の PBL 授業のモデル」について「情報教育研究委員会 情報専門教育分科会」から提案することにした。

### ④ 全体討議

情報提供、課題提起を踏まえて、情報系人材教育の方向性を確認し、その上で教育モデルの具体策について意見交換し、産学連携による分野横断型の教育改善を考察することにした。

### 参加者について

本年度の交流会では、「構想力及び実践力を目指した分野横断によるオープンイノベーション型の PBL 授業のモデル」について 課題提起し意見交流を行うが、その際に「学生の意見も聞いた方がよい」との意見があり、学生も参加対象に加えることにした。また、初めての試みであることから委員に参加学生を紹介いただくことにした。

## 2. 大学教員の企業現場研修の開催について

平成 28 年度「大学教員の企業現場研修」の開催要項について内容を検討し多結果、以下のようにとりまとめた。

### (1) 日本電気株式会社の協力による大学教員の企業現場研修

#### 1. 研修テーマ

社会価値創造企業における人材育成・人財確保を現場で学ぶ

#### 2. 研修目的

社会に貢献し、新たな価値を社会とともに創造していくためには ICT の専門知識だけではなく、幅広い知識や柔軟な考え方、コミュニケーション能力などが求められます。本研修では、社会に役立つ先端技術を開発し、その技術を用いて製品やサービスを提供している ICT 企業の現場ではどのような人材を必要とし、そのために必要な教育とは何かを考える機会としていただくことを目指します。また、社員教育制度の紹介や、若手社員との交流を通じて、企業の求める人材と大学に求められる教育について意見交換を行います。

3. 研修企業 : 日本電気株式会社 4. 開催時期 : 平成 29 年 2 月 9 日 (木) 1 日間

5. 募集人数 : 20 名 6. 参加費 : 無料

### (2) 株式会社社内田洋行の協力による大学教員の企業現場研修

#### 1. 研修テーマ

情報の価値化と知の協創を目指す人材育成

## 2. 研修目的

人口減少などの構造変化を背景に、地方活性化、ダイバーシティの推進、グローバル化など、日本は大きな転換期を迎えており、“生産性向上”や“21世紀型能力開発”に向けて「働き方の変革」「学び方の変革」が求められています。本研修では ICT を活用し具体的な場づくりを実践している「UCHIDA ライブオフィス」と「フューチャークラブルーム®」を見学・体験いただきます。併せて、企業の求める人材像や人材育成プランの共有、教育コンテンツやデータ活用などの取り組みの紹介、ICT 構築に関わる管理職と若手社員との交流の中で、大学教育に必要となる具体的な事柄について意見交換を行い、課題を整理します。

3. 研修企業 : 株式会社内田洋行      4. 開催時期 : 平成 29 年 2 月 21 日 (火) 1 日間  
5. 募集人数 : 20 名      6. 参加費 : 無料

### (3) 株式会社日立製作所の協力による大学教員の企業現場研修

#### 1. 研修テーマ

社会イノベーションにおける最先端 ICT 活用事例の現場研修

#### 2. 研修目的

社会が大きく変化する中で、ICT がイノベーションの核となり、新しい成長分野の創造に不可欠な存在となっています。ICT 専門分野の知識だけでは限界があり、多面的な視点から問題発見・解決する能力が求められています。本研修では、まず日立の ICT 技術が支える社会イノベーション事業を紹介し、その上で日立の求める人材像と採用戦略を紹介し、若手社員を交えた意見交流を行なう中で、大学教育に求められる教育改善について意見交換します。

3. 研修企業 : 株式会社日立製作所      4. 開催時期 : 平成 29 年 3 月 9 日 (木) 半日間  
5. 募集人数 : 20 名      6. 参加費 : 無料

### (4) 富士通株式会社の協力による大学教員の企業現場研修

#### 1. 研修テーマ

ヒューマンセントリックな未来社会実現に向けた先端 ICT 活用事例

#### 2. 研修目的

ヒューマンセントリックで幸福な未来社会実現に向けて、イノベーションの核となる最先端 ICT の具体的な活用事例を施設見学も含めて紹介します。また、ICT 業界で高い専門性で活躍する人材育成に向けた社員教育制度の紹介や若手社員との交流を通じて、企業の求める人材と大学に求められる教育についての意見交換を行い大学教育の見直しを図るきっかけづくりとします。

3. 研修企業 : 富士通株式会社      4. 開催時期 : 平成 29 年 3 月 10 日 (金) 1 日間  
5. 募集人数 : 40 名      6. 参加費 : 無料

## 4. 今後の進め方について

本日決定の「第 8 回産学連携人材ニーズ交流会」、「平成 28 年度大学教員の企業現場研修」については 12 月末までに開催要項、募集案内を全国の国・公・私立大学の学長宛に発送することにした。